

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【公表番号】特表2010-514023(P2010-514023A)

【公表日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2009-541809(P2009-541809)

【国際特許分類】

G 06 F 17/22 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/22 520 S

G 06 F 17/22 526 A

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0055

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0055】

なお、本発明の好適な実施形態を示したのは本発明をご理解頂くためであり、保護される発明の範囲を別紙特許請求の範囲に比べ限定乃至限縮するためではない。また、以下に付記として本発明の構成の例を示す。

(付記1)

キーパッド(2)及び表示部(3)を随伴する端末(1)を使用し、単独又は一連の画像(6)のコンテンツ又はその画像(6)にまつわるコンテキストに関するテキストが入力されている最中に、当該コンテンツ、コンテキスト又はその双方を象徴しておりそのテキストの継ぎで使われそうな語を少なくとも1個、その端末(1)からアクセス可能な単語データベース(5M)に登録されている語のなかから自動先取りする方法であって、

(a) その端末(1)を使用し単独又は一連の画像(6)を指定させるステップと、

(b) 指定された画像(6)のコンテンツ、その画像(6)にまつわるコンテキスト或いはその双方を分析して得られる語がコンパイルされるよう、単語データベース(5M)を自動適合させるステップと、

(c) その端末上でそのテキストに逐次追加される1個又は複数個の字に基づき、且つその単語データベース(5M)に登録されている語のなかから、その字で始まる少なくとも1個の推奨語を自動先取りするステップと、

(d) 先取りした推奨語をそのテキストに自動挿入するステップと、  
を有する方法。

(付記2)

付記1記載の方法であって、上記コンテキストがその画像(6)の撮影状況である方法。

(付記3)

付記1記載の方法であって、上記コンテキストがその画像(6)にまつわる場所的コンテキストである方法。

(付記4)

付記1記載の方法であって、指定された画像をその端末(1)の表示部(3)に表示させる方法。

(付記5)

付記 4 記載の方法であって、入力中のテキストをその端末の表示部に表示させる方法。  
(付記 6 )

付記 1 記載の方法であって、先取りした推奨語をその端末の表示部に表示させる方法。  
(付記 7 )

付記 6 記載の方法であって、ステップ( c )で複数語が先取りされた場合に、それらの推奨語のうちいずれかを画面タッチ等により表示部上で選択させる方法。

(付記 8 )  
付記 6 記載の方法であって、ステップ( c )で複数語が先取りされた場合に、それらの推奨語のうちいずれかをその端末のキーパッドで選択させる方法。

(付記 9 )  
付記 1 記載の方法であって、推奨語の先取りに当たり、T9(登録商標)プロトコル等の他種入力テキスト先取り方式を併用する方法。

(付記 10 )  
付記 1 記載の方法であって、推奨語の先取りを、指定された画像を画素分類法でセマンティック分析し、その画像における画素分布を統計分析し、その画像における経時画素分布を時空間分析し、或いはその画像上の画素連鎖から輪郭を認識した結果に基づき行う方法。

(付記 11 )  
付記 10 記載の方法であって、推奨語の先取りを、更に、その端末で指定される撮影モードに基づき行う方法。

(付記 12 )  
付記 1 記載の方法であって、推奨語の先取りを、指定された画像にまつわるコンテキストを分析することでその画像に特有の地理的な又は時間的なデータ、例えばその画像の撮影場所及び日時を導出してそのデータに基づき行う方法。

(付記 13 )  
付記 12 記載の方法であって、推奨語の先取りを、指定された画像にまつわるコンテキストを分析することでその画像に特有の時間的なデータ、例えばその画像の精密な撮影時刻を表すデータを導出してそのデータに基づき行う方法。

(付記 14 )  
付記 1 記載の方法であって、推奨語の先取りを、指定された画像を付記 10 の記載に従いセマンティック分析した結果、並びにその画像を付記 12 又は 13 の記載に従いコンテキスト分析した結果に基づき行う方法。

(付記 15 )  
付記 14 記載の方法であって、推奨語の先取りを、単語データベースに登録されている語からの自動演繹により行う方法。

(付記 16 )  
付記 14 記載の方法であって、推奨語の先取りを、更に、指定された画像に付随するオーディオデータをセマンティック分析した結果に基づき行う方法。

(付記 17 )  
付記 1 記載の方法であって、先取りした推奨語を、指定された画像と隣り合うよう表示部(3)の閲覧ウィンドウ内に表示させる方法。

(付記 18 )  
付記 1 記載の方法であって、指定された画像及びそれに関わる上記テキスト双方を、マルチメディアメッセージングサービス等のフォーマットのファイルにデジタルデータとして保存する方法。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**特許請求の範囲

**【補正対象項目名】**全文

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

キーパッド(2)及び表示部(3)を随伴する端末(1)を使用し、単独又は一連の画像(6)のコンテンツ又はその画像(6)にまつわるコンテキストに関するテキストが入力されている最中に、当該コンテンツ、コンテキスト又はその双方を象徴しておりそのテキストの続きで使われそうな語を少なくとも1個、その端末(1)からアクセス可能な単語データベース(5M)に登録されている語のなかから自動先取りする方法であって、

(a) その端末(1)を使用し単独又は一連の画像(6)を指定させるステップと、

(b) 指定された画像(6)のコンテンツ、その画像(6)にまつわるコンテキスト或いはその双方を分析して得られる語がコンパイルされるよう、単語データベース(5M)を自動適合させるステップと、

(c) その端末上でそのテキストに逐次追加される1個又は複数個の字に基づき、且つその単語データベース(5M)に登録されている語のなかから、その字で始まる少なくとも1個の推奨語を自動先取りするステップと、

(d) 先取りした推奨語をそのテキストに自動挿入するステップと、  
を有する方法。

**【請求項 2】**

請求項1記載の方法であって、推奨語の先取りを、指定された画像を画素分類法でセマンティック分析し、その画像における画素分布を統計分析し、その画像における経時画素分布を時空間分析し、或いはその画像上の画素連鎖から輪郭を認識した結果に基づき行う方法。

**【請求項 3】**

請求項1記載の方法であって、推奨語の先取りを、指定された画像にまつわるコンテキストを分析することでその画像に特有の地理的な又は時間的なデータ、例えばその画像の撮影場所及び日時を導出してそのデータに基づき行う方法。